



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月9日

上場会社名 ゼット株式会社  
 コード番号 8135 URL <http://zett.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 渡辺裕之  
 (氏名) 林賢志  
 TEL 06-6779-1171

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	19,914	1.7	228	166.0	282	97.3	206	79.1
29年3月期第2四半期	20,268	5.0	85		143		115	

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 366百万円 ( %) 29年3月期第2四半期 79百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	10.56	
29年3月期第2四半期	5.90	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	20,670	8,553	41.4	436.96
29年3月期	20,862	8,246	39.5	421.25

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 8,553百万円 29年3月期 8,246百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		3.00	3.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

30年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 2円00銭 特別配当 1円00銭

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,000	3.3	300	2.3	370	1.4	290	2.6	14.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	20,102,000 株	29年3月期	20,102,000 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	526,839 株	29年3月期	526,839 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	19,575,161 株	29年3月期2Q	19,575,211 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 211「当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の回復や雇用・所得環境の改善が続き緩やかな景気回復基調が続いております。一方、国際情勢の不確実性は高まっており、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中で当社グループは、①自社品の強化、②卸ビジネスの進化、③新規商品、新規流通の開拓と新規事業へのチャレンジ、④生産性の向上、⑤人財の活性化・情報システムの整備と高度化・物流機能の強化、⑥グループ内の連携強化を基本方針とし、業績向上に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は19,914百万円（前年同期比1.7%減）、営業利益は228百万円（前年同期比166.0%増）、経常利益は282百万円（前年同期比97.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は206百万円（前年同期比79.1%増）となりました。

部門別の業績は、次のとおりであります。

#### (卸売部門)

卸売部門は、夏場において関東を中心とした近年まれにみる長雨による天候不順等により、個人消費が伸び悩む中、ゼットベースボール公式Twitterアカウントの開設や当社ホームページをリニューアルするなど、ファン層の拡大に努めました。「外商・スクール」及び「アスレ」マーケットのうち、テニス・バドミントン用品は、インバウンド需要の落ち着きや、一部の取り扱い商品における流通経路変更等により低調に推移しました。一方、野球・ソフトボール用品、卓球用品、競技シューズ、競技ウェア等は、得意先への提案やMD力が評価されたこと等により堅調に推移しました。「ライフスタイル」マーケットは、カジュアルシューズ等のフットウェアはスニーカーブームが落ち着きつつある中で堅調に推移したものの、アウトドア用品が一部の取り扱い商品における流通経路変更等により苦戦し、低調に推移しました。「ボディケア」マーケットは、トレーニング製品ブランド「SKLZ」やテーピング類は堅調に推移しましたが、サポーターは低調に推移しました。

この結果、売上高は19,031百万円（前年同期比1.2%減）となりました。

#### (製造部門)

製造部門は、収益性を意識し、MD力、商品企画、開発力の強化並びに品質向上に努めました。野球・ソフトボール用品においては、昇華プリントユニフォームやグラブ・スパイク等のグッズは好評価を得ており、また、原価改善も寄与し順調に推移しました。「コンバース」のバスケットボール用品においては、新規チームの獲得によりウォームアップウェアは堅調に推移したものの、Tシャツが低調に推移しました。また、当期からアウトドアブランド「Canadian East」の直販をゼット㈱へ移行したことにより、売上高が減少しました。健康関連用品は、アスリートのための加圧トレーニング用品である「カーツ」ウェアが、堅調に推移しました。

この結果、売上高は171百万円（前年同期比18.6%減）となりました。

#### (小売部門)

小売部門は、店頭においてはアウトドアグッズが低調に推移したものの、アウトドアウェアや登山靴が堅調に推移しました。また、登山用品ECサイト「ロッジ PREMIUM SHOP」は引き続き堅調に推移しました。

この結果、売上高は219百万円（前年同期比6.6%増）となりました。

#### (その他部門)

スポーツ施設運営部門は、近隣の競合店との競争激化が続いておりますが、企画や、イベントの効果により会員数は微増となり、前期比横ばいで推移しました。物流部門は、前期からの外部受託業務における取り扱いの減少により低調に推移しました。

この結果、売上高は492百万円（前年同期比16.3%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ192百万円減少し、20,670百万円となりました。これは主に、現金及び預金が389百万円、商品及び製品が279百万円及び投資有価証券が242百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が1,071百万円減少したこと等によるものであります。負債合計は、前連結会計年度末に比べ499百万円減少し、12,117百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が316百万円及び未払消費税等が129百万円減少したこと等によるものであります。純資産については、前連結会計年度末に比べ307百万円増加し、8,553百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が148百万円及びその他有価証券評価差額金が165百万円増加したこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間における業績と今後の動向を踏まえ、平成29年8月9日に公表しました通期連結業績予想を変更しました。なお、当該予想値の修正に関する事項は、本日(平成29年11月9日)公表しました「第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,659	4,048
受取手形及び売掛金	9,490	8,419
商品及び製品	3,006	3,286
仕掛品	34	36
原材料及び貯蔵品	132	155
その他	170	157
貸倒引当金	△58	△57
流動資産合計	16,434	16,046
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,841	2,842
減価償却累計額	△2,057	△2,079
建物及び構築物（純額）	783	762
土地	1,228	1,228
その他	1,201	886
減価償却累計額	△1,022	△735
その他（純額）	178	150
有形固定資産合計	2,190	2,141
無形固定資産		
その他	66	65
無形固定資産合計	66	65
投資その他の資産		
投資有価証券	1,542	1,785
長期貸付金	28	26
敷金	250	255
その他	439	435
貸倒引当金	△89	△84
投資その他の資産合計	2,170	2,417
固定資産合計	4,428	4,624
資産合計	20,862	20,670

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,185	8,869
短期借入金	266	175
未払法人税等	114	96
未払消費税等	165	36
賞与引当金	282	252
返品調整引当金	46	48
その他	565	632
流動負債合計	10,625	10,111
固定負債		
長期借入金	125	75
繰延税金負債	346	418
退職給付に係る負債	366	374
長期未払金	267	267
その他	885	869
固定負債合計	1,991	2,005
負債合計	12,616	12,117
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,005	1,005
資本剰余金	2,968	2,968
利益剰余金	3,527	3,675
自己株式	△74	△74
株主資本合計	7,427	7,575
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	801	967
繰延ヘッジ損益	19	12
為替換算調整勘定	17	16
退職給付に係る調整累計額	△20	△19
その他の包括利益累計額合計	818	978
純資産合計	8,246	8,553
負債純資産合計	20,862	20,670

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	20,268	19,914
売上原価	16,646	16,122
売上総利益	3,622	3,792
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	235	242
運賃及び荷造費	385	385
賃借料	114	121
役員報酬及び給料手当	1,229	1,242
貸倒引当金繰入額	15	△0
賞与引当金繰入額	245	236
減価償却費	70	67
その他	1,240	1,269
販売費及び一般管理費合計	3,536	3,564
営業利益	85	228
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	19	24
受取賃貸料	9	8
業務受託料	19	20
その他	29	22
営業外収益合計	78	76
営業外費用		
支払利息	2	1
売上割引	18	19
その他	0	2
営業外費用合計	20	22
経常利益	143	282
税金等調整前四半期純利益	143	282
法人税、住民税及び事業税	27	75
法人税等調整額	△0	—
法人税等合計	27	75
四半期純利益	115	206
親会社株主に帰属する四半期純利益	115	206



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	115	206
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△164	165
繰延ヘッジ損益	△19	△6
為替換算調整勘定	△12	△0
退職給付に係る調整額	1	1
その他の包括利益合計	△194	159
四半期包括利益	△79	366
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△79	366

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	143	282
減価償却費	75	70
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	14	△5
賞与引当金の増減額 (△は減少)	35	△29
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	2	8
受取利息及び受取配当金	△19	△25
支払利息	2	1
売上債権の増減額 (△は増加)	668	1,071
たな卸資産の増減額 (△は増加)	358	△304
仕入債務の増減額 (△は減少)	△10	△316
未払消費税等の増減額 (△は減少)	56	△129
その他	△26	90
小計	1,299	712
利息及び配当金の受取額	19	25
利息の支払額	△2	△1
法人税等の支払額	△7	△84
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,309	652
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△6	△21
無形固定資産の取得による支出	—	△6
投資有価証券の取得による支出	△3	△4
長期貸付金の回収による収入	7	2
定期預金の預入による支出	△300	△300
定期預金の払戻による収入	300	300
その他	0	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2	△35
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△195	△140
配当金の支払額	△38	△58
その他	△29	△27
財務活動によるキャッシュ・フロー	△263	△226
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,030	389
現金及び現金同等物の期首残高	2,669	3,359
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,700	3,748

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、スポーツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。